U-12 ﾘｰｸﾞ指導者講習会報告書

テーマ　①　子供の自立心をどう育てるか
　　②　コミュニケーションスキル向上について

方法　　①について
例題を指導者、保護者がそれぞれの立場でディスカッションし、考え方を共有した。
※例題
ア　選手がスパイクを家に忘れてきました。試合に出られる状態ではないため、指導者はその選手を試合に出場させませんでした。選手は落ち込んでいます。指導者として、また保護者としてどんな言葉がけをしますか？
イ　子供たちは夢を持っていますか？
ウ　選手が試合に負けて悔しがっているチームメイトに対して「お前のせいで負けたんだ」と暴言を吐きました。指導者として、親としてどのような言葉がけをしますか？
エ　試合前、選手たちは非常に緊張していて、「大丈夫かな・・・」と不安そうな顔をしています。指導者として、また保護者としてどんな言葉がけをしますか？
②について
ア　サッカーに関する一枚の絵を使ってどんな絵か一言で答えたり(全体状況の把握)、絵に描かれた事実を証拠に理由を分析したりした。

結果　　今回は指導者の方達のみでの講習会となりましたが、子供達の成長を願ってディスカッションしました。初めは本音の話が出てきませんでしたが、時間の経過とともに意見交換が活発になっていきました。子供達がサッカーを楽しくプレーするために僕たち指導者が子供に準備の大切さや人間性の大事さを伝えていきましょうと話し合われました。

また、子供達が夢を持ちどうしたら夢を叶えられるかを考え行動していくようサポートしていきましょうという意見交換が交わされました。

コミュニケーションスキル向上のため、「はい」、「いいえ」で答える質問ではなく「どうしてそう思う？」や「どうしたらいいと思う？」等、子供とのコミュニケーションツールの一つとして会話を膨らませアイデア、悩みを聞きだしてあげるのも子供の成長に繋がるのではないかという話し合いも出来ました。

普段各チームの指導者がこういったディスカッションをする場というのはないのでお互いの意見をぶつけ合いより良いものを作っていくことは素晴らしいことだと思いました。

田代様、このような機会を作っていただき、本当にありがとうございました。

【報告者　エアフォルク山梨ﾚｯﾄﾞ　岩崎、山川】